



【山陰インバウンドニュース 6月号】

2020年6月 15 日

(一社)山陰インバウンド機構

6月の事業予定

1. 「令和元年度観光マーケティング調査事業報告会」動画掲載

山陰に興味を持つ・山陰を訪れている外国人の実態を知ること、観光事業者の皆様が取り組むインバウンド対策をより効果的なものにしていただくために、令和元年度に実施した調査事業の報告会を5月27日にWEBで開催しました。

報告会の録画をYOUTUBEに掲載していますので、ぜひご覧ください。

国名	(人)	(%)	欧米圏内訳
大韓民国	34,745	31.0	アメリカ
欧米圏	17,662	15.8	カナダ
台湾	17,193	15.3	中国
台湾	15,721	14.0	韓国
中華人民共和国	12,073	11.0	日本
東南アジア	11,652	10.8	フィリピン
その他	3,055	2.7	インドネシア
山陰全体	112,111		タイ
			オーストラリア
			ニュージーランド
			その他
			南米圏
			ブラジル
			メキシコ
			その他
			中東圏
			韓国
			中国
			その他
			その他内訳
			インド
			ロシア
			その他

令和元年度観光マーケティング調査事業報告会 動画

YOUTUBEアドレス https://www.youtube.com/watch?v=CX0u_pjewY8&t=4426s

* 配布資料はこちらからダウンロードして下さい。

https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/5059.html

2. WEBセミナーのテーマ募集について

当機構では今年度は月に一回程度、WEBを使ってセミナーを開催する予定です。できるだけ皆様の関心に沿った内容で行いたいと考えておりますので、希望されるテーマがございましたら、下記の当機構のメールアドレス（広報部宛）にお送りください。締め切りは7月15日とさせていただきます。

メールアドレス: sanindmo@sanin-dmo.jp

* ご提案された内容が必ずしもセミナーのテーマとして選定されるとは限りませんのでご了承ください。

3. 当機構総会開催

令和2年度定時総会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面審議に代えさせていただきます。事業の実施にあたっては、国内外の観光動向をよく見極めたうえで、関係機関との調整等を図りながら、実施時期や内容等の見直しを行うなど、柔軟・即応的に遂行してまいりたいと考えておりますので、何とぞご理解頂きますようお願いいたします。

その他

1. 鳥取県南部町在住の写真家・廣池 昌弘（ひろいけ まさひろ）氏が世界最大規模の写真コンテスト「Sony World Photography Awards2020」で第2位を受賞！

当機構のHPに写真を掲載させて頂いている鳥取県南部町在住の写真家・廣池 昌弘（ひろいけ まさひろ）氏が世界的な写真機構である WPO(World Photography Organisation)が主催し、SONYの スポンサーで行われる世界最大規模の写真コンテスト「Sony World Photography Awards 2020」の「プロフェッショナル部門・自然&野生生物分野」にて第2位に選ばれました。

今回で13回目を迎える「Sony World Photography Awards 2020」は、世界203の国と地域のプロフェッショナルおよびアマチュアフォトグラファーから34万5千点を上回る応募があり、その中から各部門の最優秀賞と、プロフェッショナル部門の各分野受賞作品が選ばれ、6月9日に発表されました。

応募作品の「ヒメボタル」は9枚1組で鳥取県西部の南部町、日南町、江府町で撮影されたものです。平井知事訪問時のTVのインタビュー—では「地元の鳥取にも、世界に通用する風景があるを証明できたことが大きい。」とおっしゃっていました。

○当機構グローバルウェブサイトの廣池氏の写真ページ
https://sanin-japan.com/en/photo_movies?photographer=M.HIROIKE

○SONY プレスリリース
<https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/202006/20-047/>

*「ソニーワールドフォトグラフィーアワード 2020」について

World Photography Organisation（世界写真機構）が主催し、SONY の協賛で行われる世界最大規模の写真コンテスト。プロフェッショナル部門、一般公募部門、ユース部門、学生部門の4部門で構成。プロフェッショナル部門には以下の10種の分野がある。「建築」「創作」「発見」「ドキュメンタリー」「環境」「風景」「自然／野生生物」「ポートレート」「静物」「スポーツ」
公式 HP: <https://www.worldphoto.org/ja>

2. コロナ禍における山陰のインバウンド取組事業者の状況 「米子香港便再開に期待！」

当機構が実施した「インバウンドビジネススクール」を受講し、専門家によるアドバイスを受けながら、1フロアを1日1組限定の形で提供する「大山参道ホテル 頂 -ITADAKI-」を昨年11月にオープン（山陰インバウンドニュース 2019年10月号に掲載）された株式会社さんどう小谷代表に、コロナ禍での経営状況について伺いました。

（小谷代表）

- ・2019年11月に主として米子香港便の客をターゲットにオープンし、2月末までは香港、台湾、シンガポール、山陰在住の欧米人等の宿泊がありました。主に Booking.com からの予約です。香港4人組が星空の写真を撮るために来たこともありました。宿泊者からは「部屋は大満足。お風呂が温泉であればより良かったが、眺めは最高」「スタッフの英語対応や細やかな相談にのってくれる部分がとても良かった」等の感想を頂いています。評価は好評でこれからという時に新型コロナの影響を受け、3月以降のインバウンドの予約は全てキャンセルとなってしまいました。
- ・そのため急遽戦略を変え、ターゲットを日本人に変更し、食事付きの日本人向けの商品を作り、WEBを作り直しました。最近では「じゃらん」「楽天」「Relux」からの日本人の予約が増えつつあります。食事は提携している旅館の「大山鶏の炭火焼き」や「ジンギスカン」が人気です
- ・元々米子香港便客をターゲットに始めた宿泊施設なので、今後米子香港の直行便がどうなるのかが非常に心配です。直行便が就航すれば、がぜんやる気が出るのですが、それまでは国内需要を軸として+αでインバウンドに期待する感じです。経営規模の点から1事業者で海外向けにプロモーションをすることは困難です。
- ・在日外国人に可能性があると考えています。今まで3組来ましたが反応は非常に良かったです。



ITADAKI 外観

「大山参道ホテル 頂 -ITADAKI-」

企業名：株式会社さんどう 代表者：小谷 英介

所在地：鳥取県西伯郡大山町大山 45-5

WEB：<https://www.komorebito.com/itadaki/>

観光関連統計等

山陰への訪日外国人宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2020年3月	4,020人泊（鳥取2,680人/島根1,340人）	前年同月比 80.7%減
2019年3月	20,840人泊（鳥取13,660人/島根7,180人）	
日本全体の現状 2020年3月 （速報値）	1,130,370人 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html	前年同月比 86.5%減